



発行●鳥取県立鳥取東高等学校同窓会 東雲会

鳥取県鳥取市立川町5-210 〒680-0061

TEL 0857-22-8495

FAX 0857-22-8497

Eメール torie-h@mailk.torikyo.ed.jp

出版●株式会社 サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948

TEL 079-284-1380

FAX 079-224-7746

題字 柴山抱海氏 (特別会員)



4年ぶり! 全学年・全職員揃った体育祭写真

全国高校生大作書道展
優秀作品賞 入江佑香
創作「魂」

『しのめ基金』を創設しました。もう既に複数の生徒が海外留学を経験しています。

世界は今、何処に向かっているのか、コロナの脅威に晒された3年半の間に以前のグローバル化はその弱点を突かれ、世界情勢は混沌としています。

新しい世界秩序、新しいグローバル化に向き合うためには、海外情勢をしっかりと理解する事が重要で

先日県立高校の合格発表の様子がテレビのニュースで流れていました。鳥取東高の体育館で合格者の番号が張り出され、発表を見に来ていた受験者が大喜びしている姿が映し出されました。合格者へのインタビューで、しっかりと自分の抱負を話す様子も放映されていました。子どもの数が減り、受験者数も減っていますが、東高の『文武両道』の伝統は確実に引き継がれていくと確信しました。その為と同窓会として出来る事はしっかりとやっていこうと思います。同窓生の皆様にはこれからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2020年から猛威を振るったコロナ感染症も、昨年5月によりやく第五類へ移行となりました。同窓生の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

コロナウイルスそのものがいなくなった訳ではなく、感染も続いています。我々の生活様式も社会の在り方も、コロナ前とは大きく変わった点も多々あります。日本は海外に比べてコロナ前からマスクをする人が多かったのですが、現在も多くの人が違和感なくマスクをしています。海外に行くときマスクひとつとっても日本との差を感じます。良い悪いという問題ではなく文化の違いだと思います。こういう事は実際海外に行かなければ理解し難い事かも知れません。

国内においても、新しいインバウンドの動きが活発になってきています。日本の経済、特に観光を中心とした産業はインバウンドに頼る事が大きくなっており、今後ますます重要になっていきます。日本国内でもグローバル化は進んでおり、観光だけではなく、外国人労働者もあらゆる職種、職場で活躍しています。海外留学の経験は国内で仕事をする場合でも必ず活かされます。



同窓会長 石丸 文男 (山24)

ごあいさつ





校長 原田 晋一 (山35)

ご挨拶



鳥取東高同窓会「東雲会」の皆様におかれましてはますますご壮健にて多方面でご活躍の中のことと心からお喜び申し上げます。また、本校教育に日頃からご厚情とご協力を賜り、ありがとうございます。

令和6年はいつもの日常は決して当たり前ではないことを痛感させられる年明けとなりました。能登半島地震で被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興をお祈りする次第です。また、「質実剛健にして自由と創造性に充ちた人間の育成」に努められた山本孝雄元校長先生が1月に、そして通算25年にわたり「鳥取東高校の生徒、先生方のために」と文字どおり命をかけて本校教育にご尽力くださった竹島一郎先生が3月に、それぞれ他界されました。両先生のご冥福をお祈りします。

こちらで咲く1年間になりました。生徒は学習、部活動、学校行事それぞれに全力で取り組むことができ、部活動で多くの生徒が中国大会、全国大会に出場しました。ボート部女子舵手付きクオドルプルは全国高等学校総合体育大会（北海道大会）で全国5位入賞を果たすという快挙を納めています。コロナ禍で途切れかかった伝統を生徒の思いと力でつなぎ止め、学年の枠を超えて生徒が力を合わせることで、素晴らしい東高祭が実施できたことも印象的です。さらに、日常の中に成長の糧を見出して努力を積み重ね、「行きたい大学」を目指して最後まで粘りきろうとする生徒、難関大学受験に果敢にチャレンジする生徒が増えたことも特筆に値すると思っています。本校を支えてくださった諸先輩の魂として本校の伝統を引き継ぎ、泥臭く、諦めることもなく、高い志を持って最後までやりきる精神をさらに広めていきたいと思えます。引き続き、厳しくご指導くださるようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症予防のため、この3年間さまざまな学校行事が制限を受け、規模を縮小したり計画を変更したりしながら行われてきました。鳥取東高校最大の生徒会行事である「東高祭」も同様、一度も伝統の合唱コンクールを経験しないまま卒業した学年もありました。しかし、新型コロナウイルス類移行を受け、4年ぶりに合唱、三年生の模擬店、全校生徒でのフォークダンスが復活。昨年までとはかなり内容が異なり準備も大変だったと思いますが、生徒たちはそれすらも楽しんでいました。

一日目梨花ホール、ゴスペルスベシャルコンサート、文化部発表について行われた合唱コンクール本選。どの学年も初めてだったにもかかわらずやはり力を見せつけたのは三年生でした。二日目は校内でクラス演技やミュージックファクトリーなどが行われ、二年生

のクリエイションや三年生の模擬店も大盛況でとても賑やかな一日でした。昨年までと大きく種目を変えて実施された三日目の体育祭、競技も応援も全力で楽しむ生徒たちの熱気はいつまでも冷めることなく、最後は全学年参加の「タベのつどい」でフォークダンスを踊って、東高祭は幕を閉じました。マスクを外して思い切り

友達と笑い合い、学校祭を楽しむ生徒の笑顔が溢れた三日間でした。また、保護者や家族の皆さん、地域の皆さんにも多く来場いただき、久しぶりに生徒の活躍を見ていただくことができました。創立一〇一年目の東高祭のテーマは「シン・ヒガシコウサイ」。来年度以降もさらにバイジョンアップした東高祭を生徒たちが作り上げてくれるものと期待しています。

文責

鳥取東高教諭 清水幸代 (山47)

東高の伝統復活



模 擬 国 連



模擬国連担当 村 岡 歩 (山53)

本校では、2年前より模擬国連の活動を行っています。2023年8月には、全国の高校生600人以上が集まる日本最大規模の模擬国連大会「第7回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)」に本校生徒16人が参加しました。この大会では「教育の再考と新たな対応」という国際問題を議題として、それぞれ国益を背負った各国大使という立場から、作り上げた政策を軸に決議をはじめとした会議における結果を追い求め、議論や交渉、スピーチ等を行いました。

【第7回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)概要】

主催：全国中高教育模擬国連研究会

日時：2023年8月6日(日)・7日(月)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

議題：教育の再考と新たな対応

(Reimagine and recommit to education)

本校生徒の担当国：Japan、Norway、U.S.A、France、Argentina、Italy、India、Peru

【活動に参加した生徒の感想】

私が初めて模擬国連の大会に参加したのは、1年生の冬でした。将来世界で人を助ける仕事に就きたいと思っている私にとって、国際問題を詳しく考えるきっかけになりました。初めての大会では周りの各大使の言っていることを理解するのがやっとでした。全国レベルの高校生たちと初めて出会い、今までの自分で満足しては大学入学後も社会に出た後も、このような高校生たちに追いつけないと気付かされました。その後も模擬国連の大会に挑戦し続け、今まで計4回参加しました。今では国際問題に関する知識も増えて、大会では県外の高校生たちの中で堂々と自分の意見を言えるようになりました。まだまだ私が追いつけない、尊敬できる高校生はたくさんいるけれど、追いつこうとするのではなく、大会に出なければ出会わなかったその出会いに感謝することを大切にしようと思った活動でした。



野球部創部50周年&センバツ「21世紀枠鳥取県推薦校」選出 更なる飛躍を

野球部部長 村 岡 歩 (山53)

創部50周年を迎えた昨年度、2024年3月開催の第96回全国選抜高校野球大会「21世紀枠鳥取県推薦校」に選出されたことは、本校野球部が50年間築き上げてきた歴史をより深めるものとして、大変誇らしく考えております。残念ながら、選抜出場は叶いませんでしたが、次こそは自分たちの力でその夢を勝ち取ることができるよう、日々励んでおります。「21世紀枠」発表後より、学校にも地域の方や同窓生など、本校を応援してくださっている方からお電話等でお祝いや激励の言葉をいただきました。たくさんの方々の応援の声が、選手にとって、大きな励みとなっております。今後とも、本校野球部を宜しくお願い致します。

〈主将の濱本直人くんの挨拶／21世紀枠推薦表彰式〉

「この度は、21世紀枠の推薦に選出していただきありがとうございます。このような形で選ばれたことをとても嬉しく思っています。今のチームは、野球の面だけでなく、野球以外の人間的な部分でも魅力のあるチームで、周りの方々から応援されるようなチームを目指しています。これからも、たくさんの方々の応援や期待に応えられるよう、チーム一丸となって励んでいきます。この度はありがとうございました。」

★本校野球部、今春よりInstagramはじめました→
Instagramアカウント@TOTTORI.EAST_BASEBALL

21世紀枠
推薦表彰式の様子

部活動紹介

文責 教諭 清水幸代(山47)

現在、鳥取東高校には

三〇を超える部活動・同好会があり、生徒の加入率は八割を超えています。コロナ禍においては部活動が制限されたり、大会等が中止・縮小されたりすることもたびたびありましたが、ようやく制限が緩和され、以前のような活気を取り戻してきました。活発に部活動に励むいくつかの部を紹介します。

○邦楽部

令和五年度鳥取県高等学校総合音楽会において日本音楽部門で最優秀校となり、令和六年度の全国高等学校総合文化祭への出場を決めました。

○剣道部

一時は部員数がゼロとなり、休部していたが、



また少しずつ部員を増やし、令和五年度は中国大会にも出場し、令和六年度も出場予定です。

○水泳部

令和五年度鳥取県高等学校総合体育大会水泳競技の部で九年ぶりに男女総合優勝、次いで県高等学校新人水泳大会でも男女総合優勝を果たしました。

また、大会等に参加するだけでなく、近くの小学校の創立記念式典で演奏を行った吹奏楽部や、書道パフォーマンスを披露した書道部、競技人口拡大のために幼児・児童のイベント参加を補助した女子サッカー部など、地域に貢献するという役割を果たした部活動もありました。部活動を通して技術や体力を向上させるだけでなく、ボランティア精神を養い、自分自身を成長させている東高の生徒たちです。



最後にになりましたが、私のバーモントでの経験は「しののめ基金」のご支援があったからこそとても意義深い、素敵なものになったと感じています。同窓生の皆様に心からお礼申し上げます。



この生徒が質問や意見を出し合っており、学びに関する意欲や自主性が強いことを痛感しました。この経験は将来、教育を学びたいと考えている私にとって貴重な財産になると感じています。さらに、様々な夢や熱い想いをもった同世代の子や様々な価値観や習慣を持つ人と出会えたことをおとし、改めて「人と繋がる」ことの素晴らしさを知りました。また、彼女達と考えや夢をシェアしたこと、自分の夢や行動により自信をもてるようにもなりました。

この研修をとおして、国際交流の意義とは、お互いのいいところを学びあって、新たな視点を得ることだと私は気づきました。バーモントで出会った人達は、自分のセクシャリティや考えなど何においてもオープンな人が多く、個性を大事にしていますが、日本ではお互いの気持ちを尊重し合う協調性を重要視されることが多くあります。このせいもあるのか、私自身、そんな考え方もあるのかという発見があった一方で、日本の良さに気づける場面もありました。

このような発見を続けていくことで、人は多様な考えや発想ができるようになっていくのだと思います。私はこれから「人との繋がり」を大切に、様々な経験を積んでいけるよう努力し続けたいと思います。

～しののめ基金～

鳥取県・米国バーモント州
青少年交流事業に参加して
～「未来の自分の糧」を得られた海外研修～

2年4組(令和5年度) 石井 風葵

昨年私は「鳥取県・米国バーモント州青少年交流事業」に参加する機会を得、10月13日から約2週間、米国バーモント州でホームステイをしなが、同世代バディとの学校交流やフィールドスタディを中心とした環境学習に取り組んできました。異国の地での文化や習慣の違いをバディとして地域の皆さんとの交流は、私が想像した以上に価値ある学びと気づきにたくさん恵まれた、素晴らしい海外体験になりました。

例えば、アメリカの授業では、多

しののめ基金について

一昨年度、創立百周年記念事業の一環として現役生支援のために創設しました「しののめ基金」を利用し、すでに2名の生徒が海外留学を経験しています。グローバル化する現代社会において、海外留学を目指す現役生を支援するため、継続して基金の益々の充実を図りたいと考えています。今後とも、会員の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

事務局長 滝波 和宏

創立百周年記念募金事業会計の報告及びお礼

事務局長 滝波 和宏

昨年度、コロナ禍で延期していた祝賀会を開催し、一連の創立百周年記念事業がすべて無事終了しました。同窓会員の皆様のご支援、ご協力のおかげで、創立百周年記念式典、現役生支援のための「東雲基金」の創設、トレーニングジムのリニューアル、学校図書館の設備充実等の関連事業も計画通り実行することができました。会員皆様のご厚意に対しまして改めて衷心よりお礼を申し上げます。

令和5年10月3日、同窓会本部会計監査の吉本幾雄様、小谷誠様ご両名により会計監査を実施していただきました。その結果を本誌面において報告させていただきます。

創立100周年記念事業募金 会計決算報告書

1 収入の部

令和5年9月26日現在

費 目	当初予算額(A)	補正後予算額(B)	収入決算額(C)	増減(C-B)	摘 要
募 金 額	60,000,000	40,000,000	32,756,179	△ 7,243,821	
一般募金	0	34,000,000	27,156,179	△ 6,843,821	1,689件
企業広告	0	6,000,000	5,600,000	△ 400,000	67件
雑 収 入	0	0	142	142	預金利息、解約利息
合 計	60,000,000	40,000,000	32,756,321	△ 7,243,679	

2 支出の部

費 目	当初予算額(a)	補正後予算額(b)	支出決算額(c)	増減(c-b)	摘 要
しののめ基金	30,000,000	20,000,000	136,000	△ 19,864,000	しののめ基金第1号 136,000円 令和5年3月9日執行済
設 備 費	20,000,000	10,000,000	13,495,080	3,495,080	トレーニングジム 12,128,000円 図書館書架 1,367,080円
事務費	9,000,000	9,000,000	9,428,593	428,593	
事 務 費	200,000	200,000	114,071	△ 85,929	募金データ買取、新聞広告、講演テープ起こし等
消耗品費	50,000	50,000	20,989	△ 29,011	募金領収書、記念式典等保存用媒体購入等
印 刷 費	8,000,000	8,000,000	8,423,755	423,755	100周年記念誌 4,502,960円 記念誌ダイジェスト版 507,100円 募金趣意書等印刷 3,334,606円 その他記念式典挨拶状等
通 信 費	600,000	600,000	504,135	△ 95,865	募金依頼用郵券、記念式典ライブ配信、記念誌発送等
手 数 料	50,000	50,000	302,263	252,263	募金管理手数料、振込手数料
使 用 料	50,000	50,000	44,000	△ 6,000	常任委員会会場使用料、新聞社への著作物使用料
旅 費	50,000	50,000	19,380	△ 30,620	感謝状贈呈のための旅費
補助費	1,000,000	1,000,000	543,150	△ 456,850	
講 演 費	500,000	500,000	157,655	△ 342,345	講師講演料、旅費
記念式典費	500,000	500,000	385,495	△ 114,505	記念不織布トートバッグ、記念クリアファイル等
合 計	60,000,000	40,000,000	23,602,823	3,438,566	

3 差引残額(C-c) 32,756,321円 - 23,602,823円 = 9,153,498円(しののめ基金移行金額)

(備考)しののめ基金財源総額 9,153,498円 + 136,000円(しののめ基金第1号) = 9,289,498円

令和6年度 入試の状況

進路指導部長 富林紀之



令和6年度入試は共通テスト4年目で、教科科目によって平均点の上下はありましたが、全体としてはほぼ昨年度並みの全国平均点となりました。現役生、過卒生ともに最後まで粘り強く受験に臨み、良好な成績を残してくれました。現役生に関しては、4年間続いてきた、卒業生の人数に対する国公立大合格者数割合が50%という結果に、残念ながら1%及びみせませんでした。しかし、受験に向かった生徒はよく検討し、一般入試ではD判定またはE判定から逆転した生徒が30名以上おり、最後まで粘った成果と言えます。また、今年度の特徴として、国公立大合格の中で、国立大学の占める割合が高く、現役過卒合わせて約74%となり、昨年度、一昨年度の約65%を大きく上回りました。

なお、過去5年間の合格者(現役・過卒の合計)の状況及び主な大学の合格者数は表の通りです。

	R02	R03	R04	R05	R06
国公立大	172	207	164	167	152
私立大	328	352	445	456	507
短大	15	23	15	16	13
専修学校等	43	58	44	52	41
計	558	640	668	691	713

(R06については3月29日現在)

主な大学等の合格者数		九州工大	1	高知県立大	1
北教大旭川校	1	福岡教育大	2	専修大	2
東京海洋大	1	長崎大	1	中央大	2
金沢大	2	大分大	2	東洋大	2
山梨大	1	宮崎大	1	法政大	1
静岡大	1	鹿屋体育大	1	明治大	1
三重大	1	琉球大	1	明治学院大	1
滋賀大	1	都留文科大	1	京都産業大	48
京都教育大	3	長野大	1	京都薬大	2
大阪大	1	愛知県立大	1	同志社大	8
大阪教育大	3	愛知県立芸大	1	立命館大	17
奈良教育大	1	福知山公立大	1	龍谷大	70
奈良女子大	2	京都府立大	1	関西大	9
和歌山大	1	大阪公立大	1	近畿大	26
鳥取大	41	神戸市外大	3	関西学院大	13
島根大	13	芸術文観光職大	1	甲南大	4
岡山大	6	公立鳥取環境大	11	鳥取看護大	15
広島大	5	島根県立大	6	その他私立大	286
山口大	5	新見公立大	1	鳥取短	8
徳島大	3	福山市立大	1	倉吉総合看護専	5
鳴門教育大	1	広島市立大	1	鳥取県立鳥取看	22
香川大	2	周南公立大	1		
愛媛大	3	下関市立大	6		
高知大	5	山口県立大	1		

(3月29日現在)

(3月29日現在)

令和5年度大会成績



<全国大会>

○全国高等学校総合体育大会

- ・柔道競技 男子66kg級 出場
- ・ボート競技 女子舵手付きクオドルプル 5位、女子ダブルスカル 出場
- ・ライフル競技 BR団体、BR個人、BP個人、AR個人 出場
- ・レスリング競技 女子74kg級 5位

○全国高等学校総合文化祭

- ・将棋部門 個人 出場
- ・書道部門 個人 特別賞

○特別国民体育大会

- ・ボート 少年男子舵手付きクオドルプル鳥取県選抜 4位、少年女子ダブルスカル鳥取県選抜 8位
- ・陸上競技 少年女子共通 三段跳 出場

○全国高等学校選抜ローイング大会

- ・女子舵手付きクオドルプル 出場

○第16回書道パフォーマンス甲子園 出場

<その他 主な大会成績>

邦楽部

鳥取県高等学校総合音楽祭日本音楽部門 最優秀校 (R6全国高総文祭へ)

放送部

鳥取県高等学校総合文化祭VM (ビデオメッセージ) 部門 (R6近畿高総文祭へ)

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会 銀賞

陸上競技部

中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会 女子円盤投 2位

バスケットボール部

鳥取県高校総体 男子 第2位 (中国大会出場)、ウィンターカップ鳥取県予選会 女子 ベスト8

バレーボール部

鳥取県高校総体 男子 ベスト8、鳥取県高校新人バレーボール大会 女子 4位

ソフトテニス部

鳥取県高校総体 男子団体、女子団体 3位 (中国大会出場)

野球部

秋季鳥取県高等学校野球大会 ベスト8

卓球部

鳥取県高等学校卓球新人戦大会 男子学校対抗 3位、女子学校対抗 4位 (ともに中国大会出場)

バドミントン部

鳥取県高校新人大会 女子シングルス 第2位 (中国大会出場)

サッカー部

鳥取県高校サッカー新人戦 男子 4位、女子 2位

水泳部

鳥取県高校総体 女子自由形100m・200m、男子背泳ぎ100m・200m 優勝 (中国大会出場)

弓道部

鳥取県高校総体 女子個人 5位

剣道部

鳥取県高校総体 女子個人 ベスト8 (中国大会出場)

受け継がれる

東高柔道部の「伝統」

柔道部顧問 網谷季昌 (山67)

年の瀬が押し迫る12月30日、東高の柔道場は賑わいを増します。毎年この日は、東高柔道部の「稽古納め」が行われるからです。年末で鳥取に帰省した柔道部OB・OGや社会人の方が来てくださり、現役生と一緒に柔道をしています。さらに、柔道場の横では保護者の方がカレーを作ってください、練習後に参加者全員でいただきます。来られる卒業生の方々は様々で、柔道を未だ続けている方もいれば、高校卒業と同時に柔道を引退された方もいます。多くの卒業生が柔道場に帰ってきてくれるのは、自分たちも代々の先輩たちに一緒に稽古してもらったからだと思っています。このように受け継がれる想いこそが東高柔道部の「伝統」なのではないでしょうか。来てくださった人たちの中心に「東高柔道部」がある稽古納め、ぜひ一度この日柔道場に立ち寄ってみてください。



追悼企画：

東京東雲会 鈴木 誠名誉会長を偲んで

(山脈5回卒業生)



2023年 東京東雲会総会

故 東京東雲会会長 鈴木 誠名誉会長と東雲の つよい絆に思う

谷口 肇 (山8)

私は鳥取東高在職16年の間、幾度となく東京東雲会に出席させていただき、鈴木会長の警咳に接することが出来ました。私の記憶にある在りし日の鈴木会長の姿を思い出すと、「東雲の絆の芯」があったように思います。初代校長林重浩先生が生徒のために起草された3ヶ条の「生徒訓条」がその芯だと思いました。

第1条【質実剛健にして、正義を
履践すべし】

補注①(虚栄に走らず、正義と



2022年 東京東雲会総会

思ったら、迷わず、勇気をもつて踏み込むこと)

鈴木会長は、中央大学法学部に学び、迷うことなく正義を貫くために弁護士としての道を選び、東京第2弁護士会会長として、初志を貫徹されました。

第2条【己を克治し、他を寛容して、親和すべし】

補注②(自らを抑制し、他人に寛容に接し、ともに仲良く働けば、自由に平等な人間関係が生まれる)

鈴木会長は、東京東雲会総会に集結した多くの同窓生を見て、穏やかに微笑んでおられました。あの鈴木会長の包容力と組織力がこの第2条を示すものです。

第3条【勤勉日々新たにして、奉公の誠を輸すべし】

補注③(すべての世の人々に一生懸命働いて力を貸す。真の意味でのボランティアを、誠心誠意行うことが最も大切)

これこそ、まさに、鈴木誠会長が東京東雲会のために淡々と身体と心で示されたものです。東京東雲会総会は、すべて、第2弁護士会の「法曹会館」という大変行き届いた会場で行われてきました。また、総会の企画・運営もすべ

て鈴木会長を中心に、会長と同期の山脈5期の岸本郁夫さんたち山脈5期の皆さんが、力を合わせて担当されました。

この文章を書きながら、東雲の絆のありようが浮き彫りになってきました。絆の体現者の第一が鈴木誠会長だったのです。母校の後輩たちに、同じ喜びを残し伝えたいというほとばしるような母校愛が、鈴木会長のお仕事の中で、開花したと思います。東高校歌を同窓会総会で高唱し鈴木誠会長とお別れしたいと思います。

補注①②③は、谷口が現代訳したものです。

まさに青春を謳歌したと言える、充実した時間でした。

私は大学卒業後、教師の道を歩み始めましたが、県内高校5校を経て鳥取東高校に配属になりました。そして就任の日、私を迎えたのが東高の校歌でした。「渦巻きおこる 高潮の♪」の歌声を聞いた途端私の両眼から涙が溢れました。これほどまで歌が胸を揺さぶると思いませんでした。

それでも、「生徒訓条」の精神は、東高のキャンパス全域に醸し出される空気に漂っていて、私たち一人一人の奥深いところに存在し、それが私たちを共につなぐ

絆になっていないのではないかと思います。

鈴木会長さん、永年にわたり、首都東京に東雲会の盤石の拠点を築いていただいたことに深甚なる感謝の意をささげます。我々後輩を育てる立場に勤めたものにとつては、えりすぐりの俊秀を安心して東京に送り出すことが出来ました。東京東雲会は関西東雲会と東雲会支部組織の双壁として、本部東雲会を支えていただきました。

我々は、先鞭をつけていただいた会長の意思を引き継いで、全国に東雲の網を張り巡らせたいと思っています。



東京支部同窓生のみなさん